

復旧・復興の進捗状況

～共に立ち上がろう 次代につなぐ新たな丸森^{まち}づくり～

令和3年1月

丸 森 町

令和元年東日本台風災害の概要及び被害状況

1. 令和元年東日本台風の概要

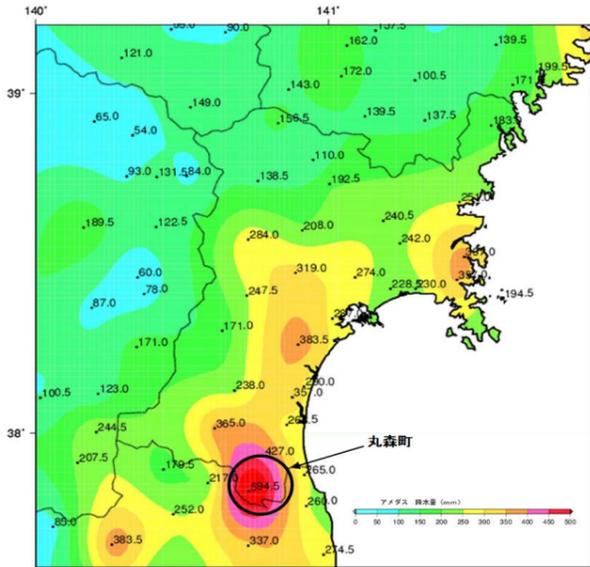
(1) 県内の降水量

表1 各地点の期間降水量（期間：令和元年10月11日午後3時～10月13日午前9時）

観測地点	市町村	降水量(mm)
筆甫	丸森町	594.5
丸森	丸森町	427.0
仙台	仙台市	383.5
雄勝	石巻市	367.0
白石	白石市	365.0
女川	女川町	357.0
岩沼	岩沼市	357.0
大衡	大衡村	319.0
名取	名取市	290.0
塩釜	塩竈市	287.0

出典：「宮城県災害気象資料」（令和元年10月17日 仙台管区気象台）から上位10地点を抜粋

図1 宮城県内の期間降水量分布図



出典：「宮城県災害気象資料」（令和元年10月17日 仙台管区気象台）を
基に丸森町作成

(2) 丸森町内の降水量及び河川の水位

表2 町内各観測所の雨量および河川の水位(令和元年10月12日～10月13日)

観測所	総雨量 (mm)	最大時間雨量 (mm)	最大時間雨量記録日時
丸森	427	60	10月12日午後11時
内川	314	54	10月12日午後10時（以降破損により欠測）
笠松	560	78	10月12日午後10時
筆甫	594	74	10月12日午後8時
大内	612	77	10月12日午後10時
大張	481	55	10月12日午後10時

河川名	観測所	最高水位 (m)	降り始めからの上昇 (m)	最高水位記録日時
阿武隈川	丸森	23.44	8.56	10月13日午前5時
内川	内川	—	8.71	浸水により欠測 (10月12日午後9時に9.84mを記録)
雉子尾川	山居	7.11	6.74	10月12日午後11時20分

出典：丸森町資料

2. 主な被害の状況

(1) 人的被害

死者	10人	災害 関連死	1人	行方不明者	1人	救助件数	50件 97人
----	-----	-----------	----	-------	----	------	------------

(2) 家屋被害

表3 地区別の住家被害件数

(単位：件)

被災区分	地区	丸森	金山	筆甫	大内	小斎	館矢間	大張	耕野	合計
被災区分	全壊	70	4	7	7	4	2	3	4	101
	大規模半壊	132	30	7	4	25	1	4	2	205
	半壊	240	165	26	36	11	7	15	14	514
	準半壊	6	1	0	1	0	3	0	0	11
	一部損壊	77	28	16	38	9	45	13	10	236
計		525	228	56	86	49	58	35	30	1,067

出典：丸森町資料（令和2年12月31日現在）

(3) 施設及び産業関連被害

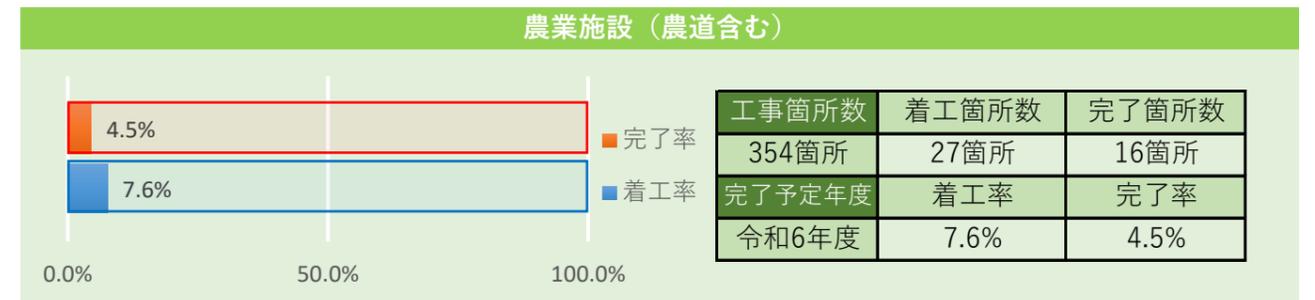
表4 施設及び産業関連の被害状況

施設名等	個所数	金額 (千円)	
公共土木施設	683	12,553,000	
土木施設	道路	341	6,428,300
	河川	338	4,764,700
	橋梁	3	260,000
都市施設	公園	0	0
	雨水ポンプ場	1	1,100,000
農林業施設	2,216	24,678,846	
農業用施設	農地	786	8,830,100
	水路	676	8,627,300
	農道	470	2,779,046
	頭首工等	108	1,850,100
林業用施設	155	2,204,000	
揚排水機場	21	388,300	
公共下水施設	3	51,000	
農業集落排水施設	2	350,000	
小計	2,904	37,632,846	
行政施設、学校教育施設、公営住宅ほか		2,402,784	
農作物 (364ha)、農業用機械等		1,145,440	
商工業関係		6,100,570	
合計		47,281,640	

出典：丸森町資料（令和2年12月31日現在）

事業の進捗状況【見える化指標(町ハード事業)】

R2.12.31 現在 ※前回(R2.9.30)からの増減をカッコ書きで表示



犬飼川 (筆甫字広町) 復旧工事の様子



鳥屋竹谷線 (丸森字土橋) 復旧工事の様子



雉子尾山屋敷線 (金山字河原) 復旧後の様子

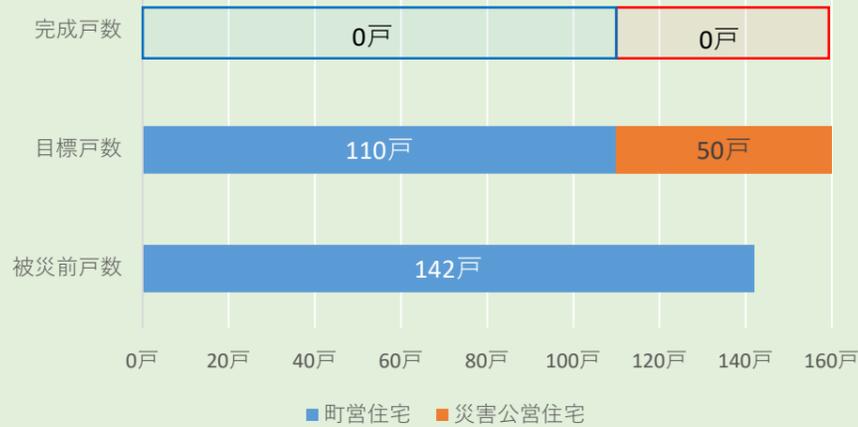
事業の進捗状況【見える化指標(町ハード事業)】

R2.12.31 現在 ※前回(R2.9.30)からの増減をカッコ書きで表示

町営住宅・災害公営住宅の整備

種別	被災前戸数	目標戸数	完成戸数	完成予定年度
町営住宅	142戸	110戸	0戸	令和3年度
災害公営住宅	0戸	50戸	0戸	令和3年度
計	142戸	160戸	0戸	

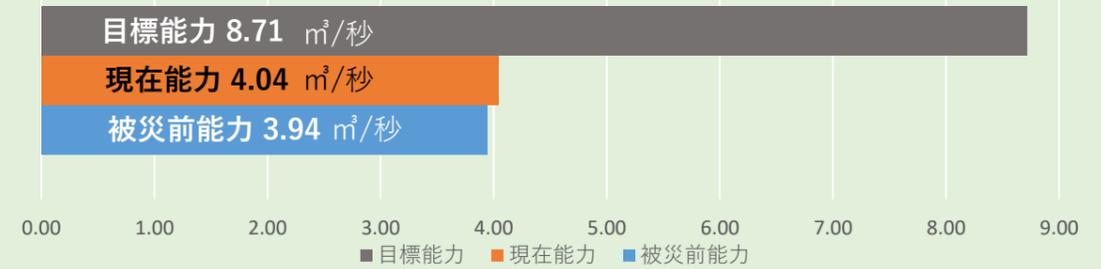
※被災した町営住宅(神明・竹谷・鳥屋)はR3.3月中の解体を目指す。



内水氾濫対策

種別	被災前能力	目標能力	現在能力	達成度	完了予定年度
既設雨水ポンプ場	2.94	2.94	1.06	36.1%	令和3年度
仮設ポンプ※	0.00	(1.98)	1.98	100.0%	令和2年度
新設雨水ポンプ場	0.00	3.00	0.00	0.0%	令和5年度
直接放流管	0.00	1.77	0.00	0.0%	令和5年度
町ポンプ車	0.50	0.50	0.50	100.0%	令和2年度
可搬排水ポンプ	0.50	0.50	0.50	100.0%	令和2年度
計	3.94m ³ /秒	8.71m ³ /秒	4.04m ³ /秒	46.4%	

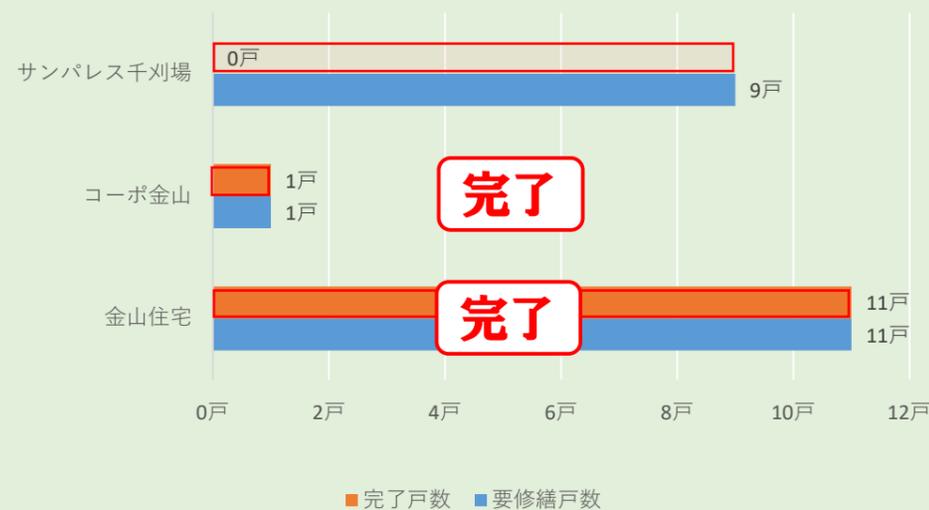
※仮設ポンプはR5年度で撤去するため、目標能力の計には含まない。



注) 目標能力に達しない場合は、国土交通省ポンプ車を要請し対応する。

町営住宅修繕

住宅名	要修繕戸数	完了戸数	完了率	完了予定年度
金山住宅	11戸	11戸(+11)	100.0%	令和2年度(R2.12月完了)
コーポ金山	1戸	1戸(+1)	100.0%	令和2年度(R2.12月完了)
サンパレス千刈場	9戸	0戸	0.0%	令和2年度



復旧した主な施設

施設名	復旧完了年月
丸森まちづくりセンター	令和2年1月
金山まちづくりセンター	令和元年12月
保健センター	令和2年9月
大張児童館	令和元年11月
たんぽぽこども園	令和2年6月
金山小学校	令和2年8月
筆甫小学校	令和2年7月
耕野小学校	令和2年12月
学校給食センター	令和2年8月



復旧後の町営金山住宅



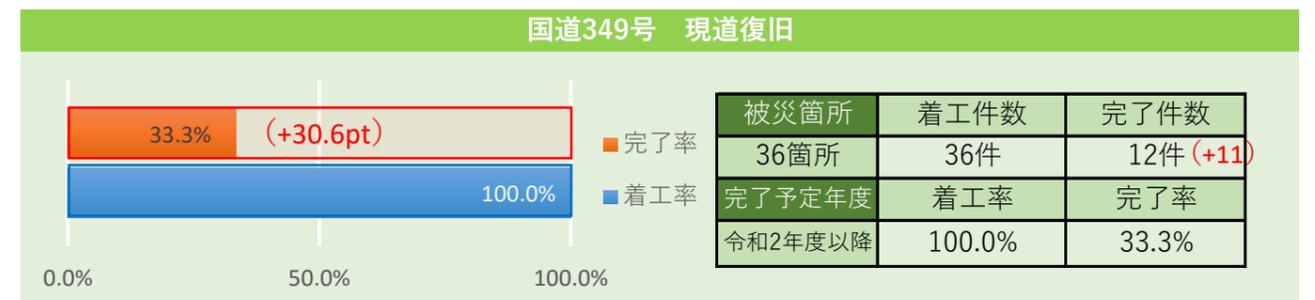
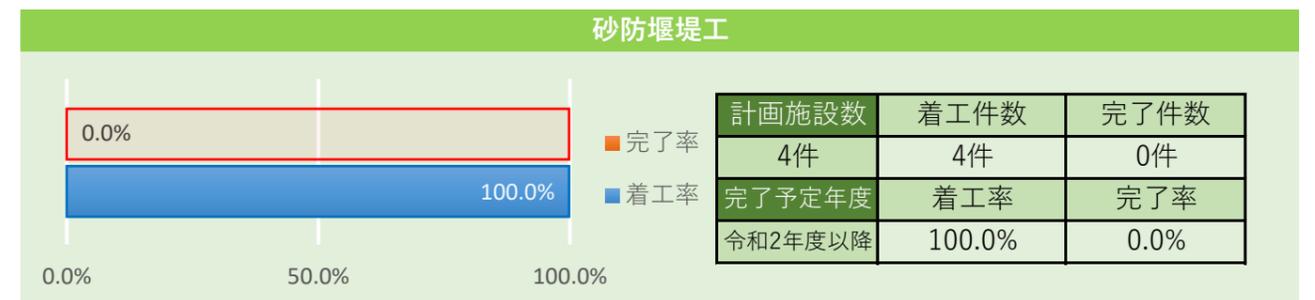
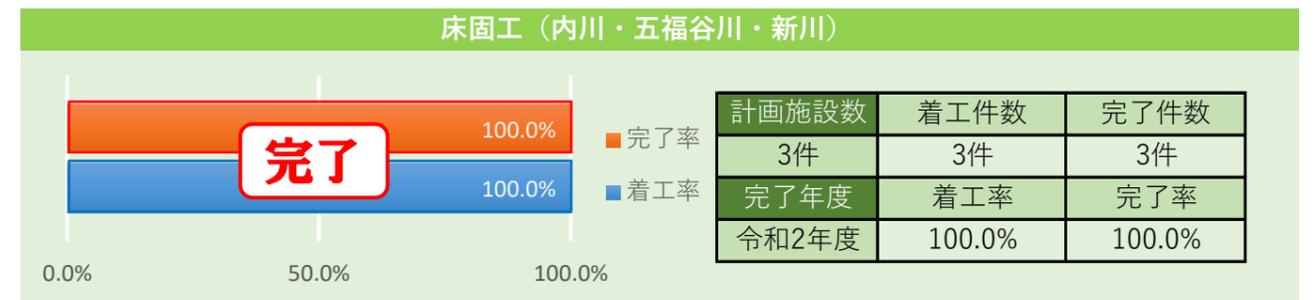
サンパレス千刈場の復旧工事の様子



町営神明住宅の解体工事の様子

事業の進捗状況【見える化指標(国ハード事業)】

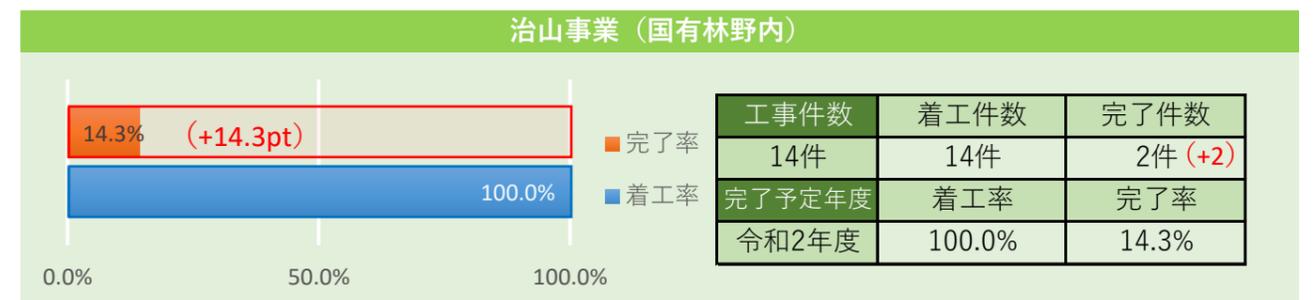
R2.12.31 現在 ※前回(R2.9.30)からの増減をカッコ書きで表示



内川 (赤堀橋下流) 河道掘削の様子



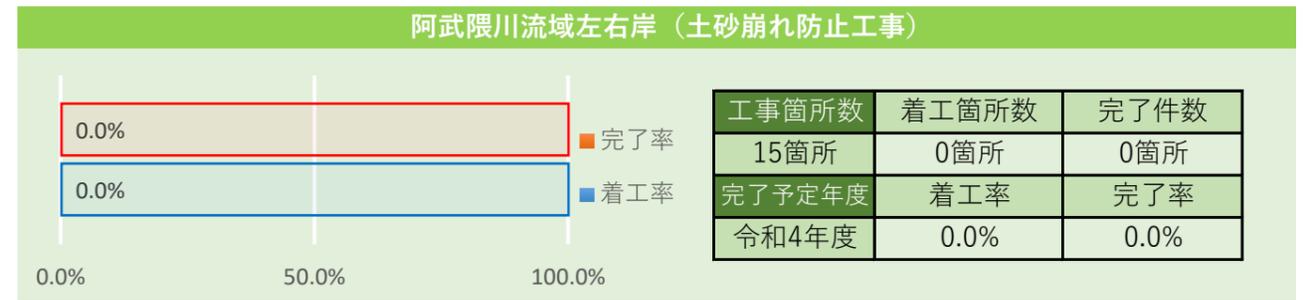
新川 (竹谷橋上流) 河道掘削の様子



内川 (滝原地区) の床固工の様子

事業の進捗状況【見える化指標(県ハード事業)】

R2.12.31 現在 ※前回(R2.9.30)からの増減をカッコ書きで表示

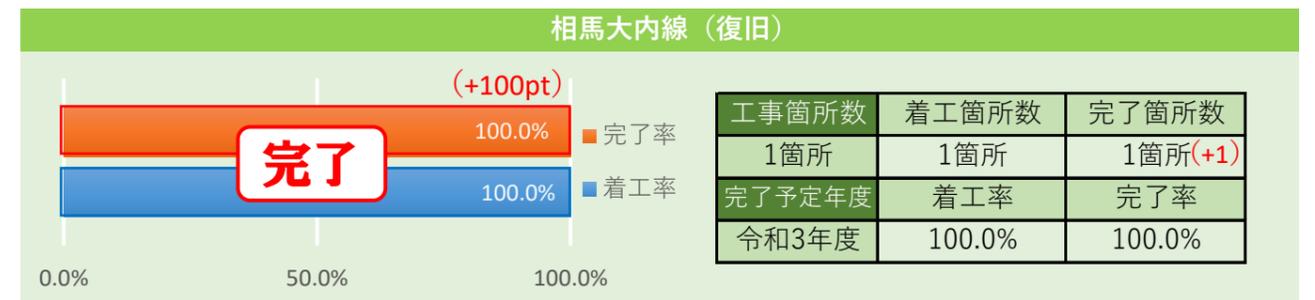
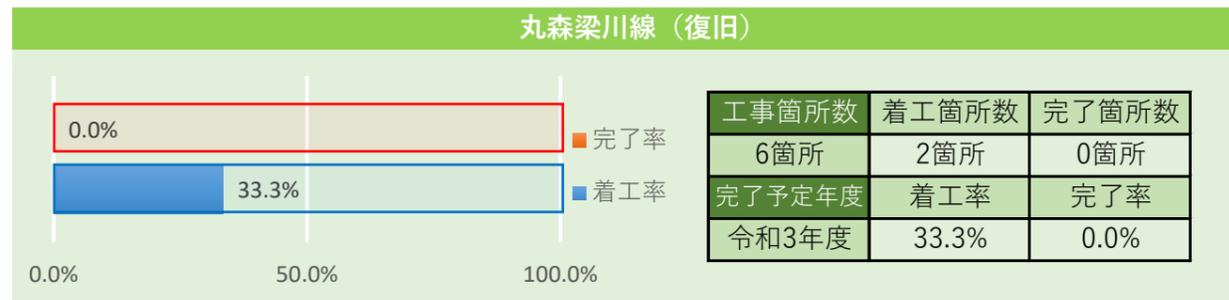
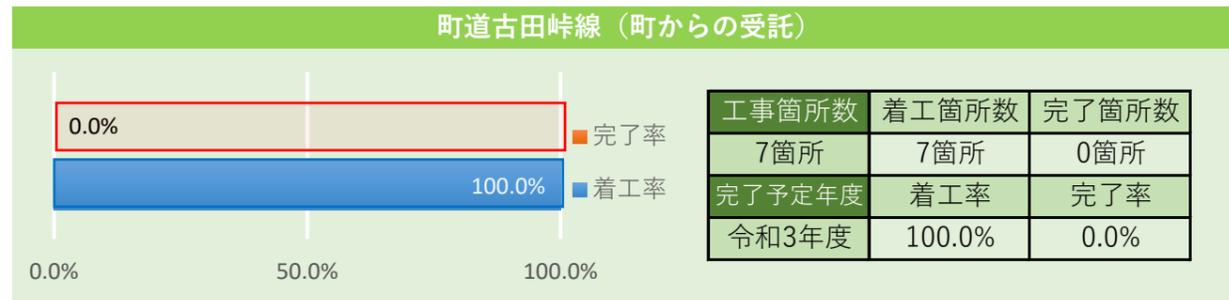


工事実施地区名	竹谷・柳	銀杏・五福谷	矢田	羽入	中通	大内	計
面積	31畝	19畝	13畝	4畝	14畝	13畝	94畝
着工	済	済	済	済	未	済	



事業の進捗状況【見える化指標(県ハード事業)】

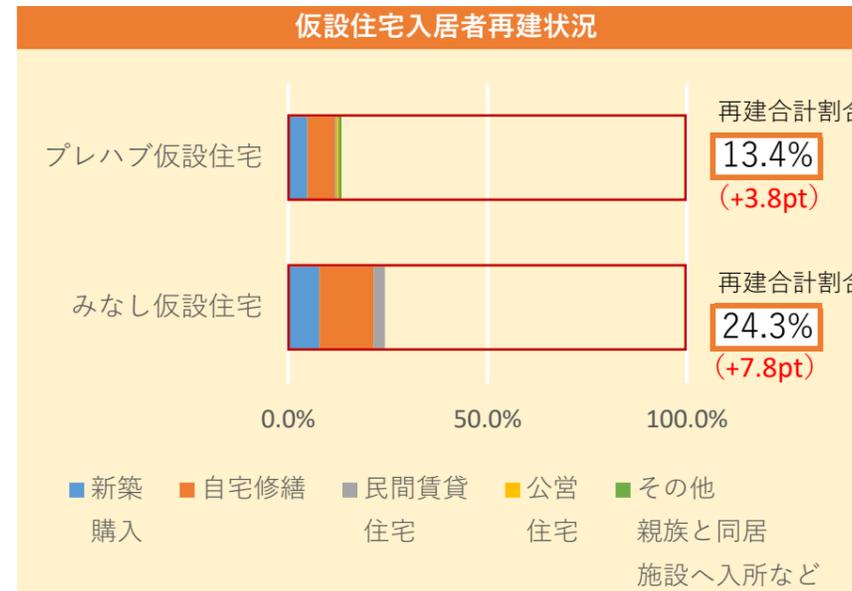
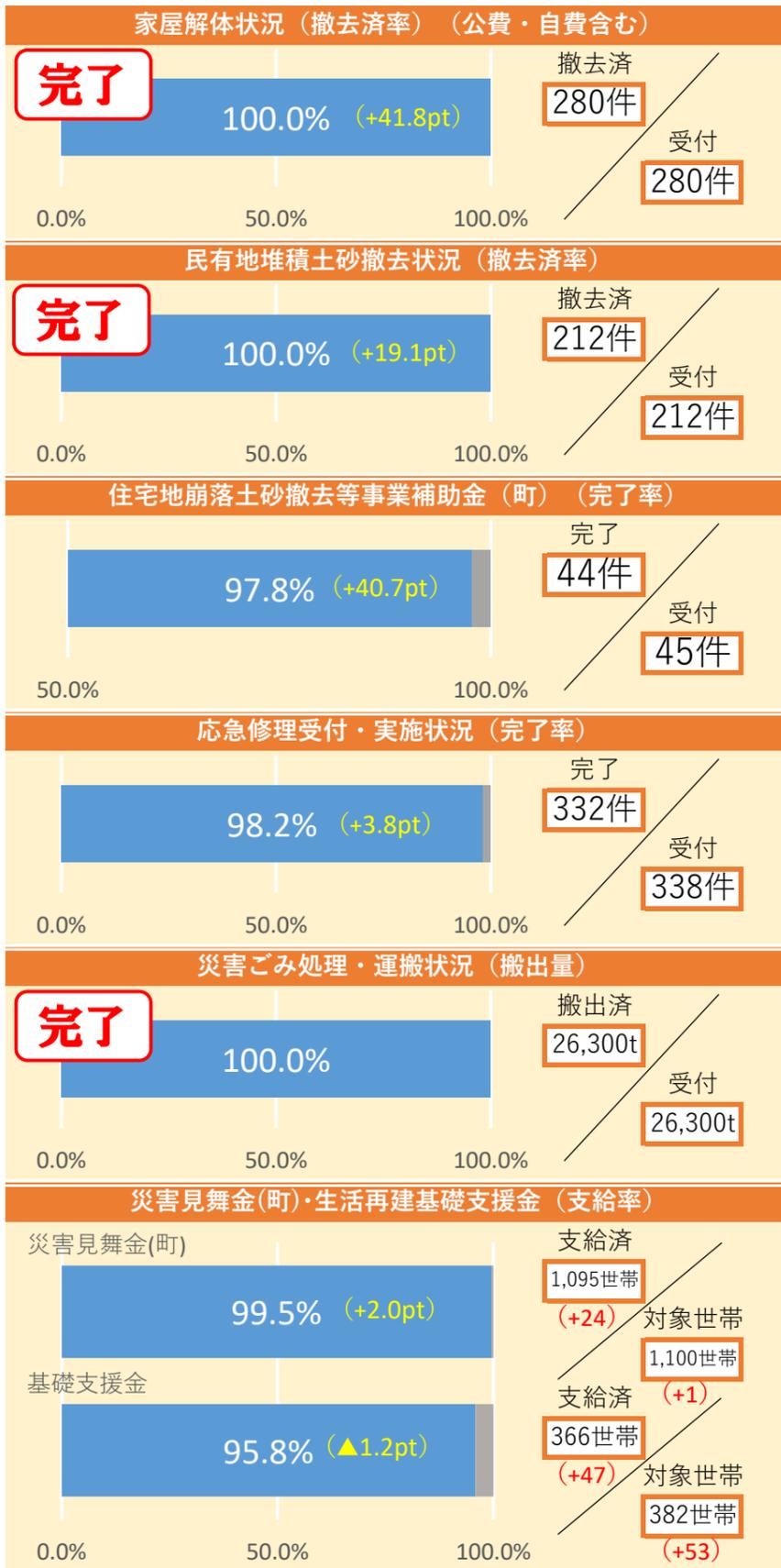
R2.12.31 現在 ※前回(R2.9.30)からの増減をカッコ書きで表示



※国道113号については工事完了済み (工事箇所数 1箇所)

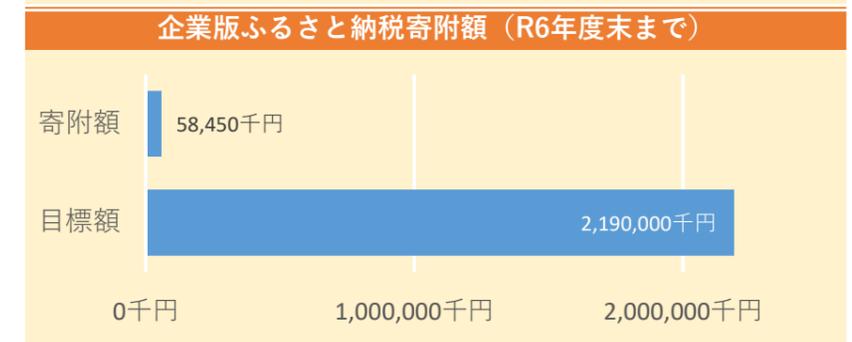
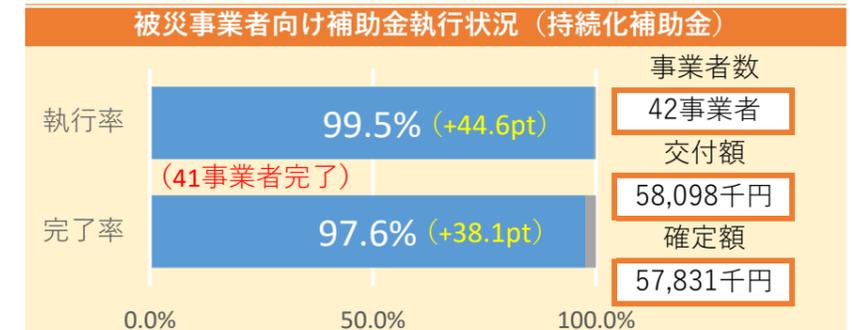
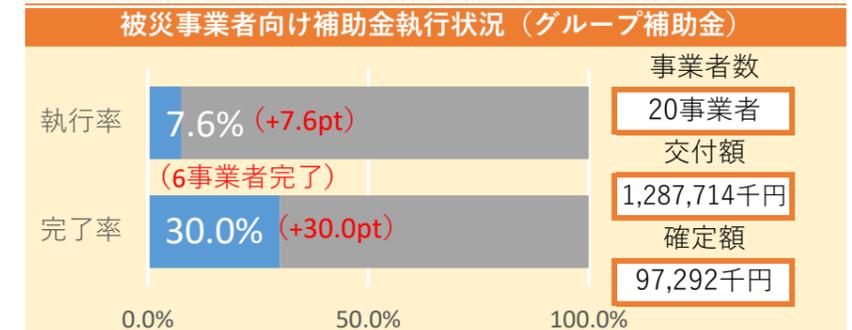
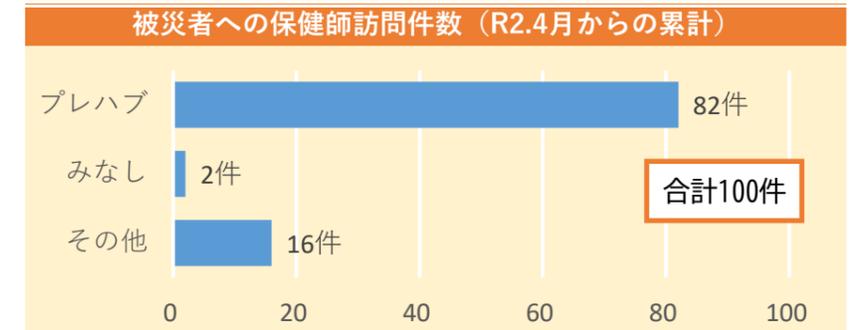
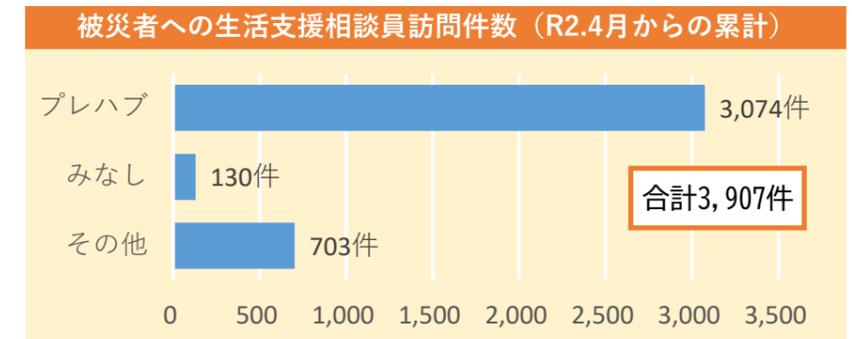
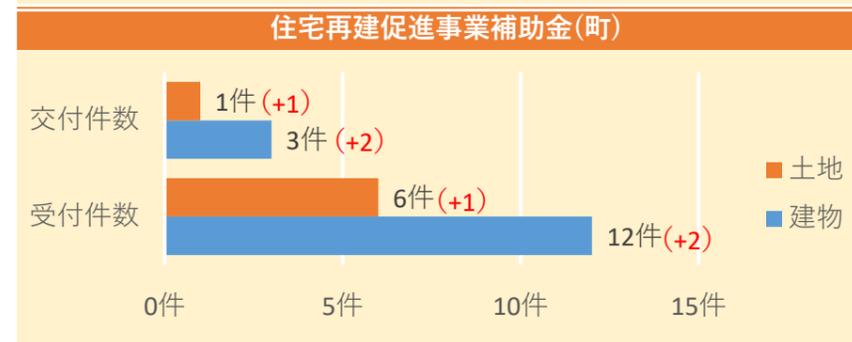
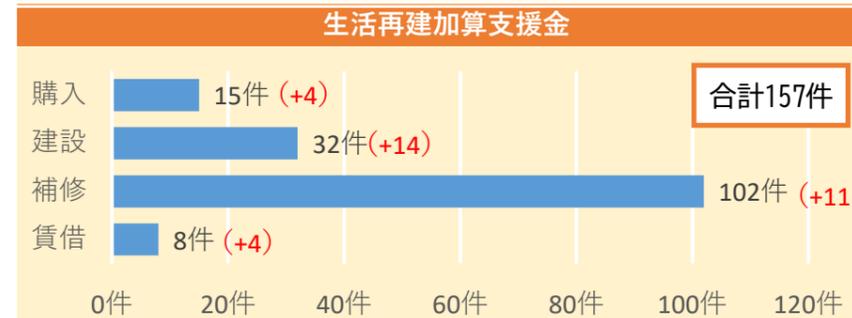
事業の進捗状況【見える化指標(ソフト事業)】

R2.12.31 現在 ※前回(R2.9.30)からの増減をカッコ書きで表示



内訳	現入居 + 再建済	再建済					再建計
		新築・購入	修繕等	民間賃貸住宅	公営住宅	その他 親族と同居施設へ入所等	
プレハブ	187件	9件 (+4)	13件 (+2)	1件	1件 (+1)	1件	25件 (+7)
みなし	103件	8件 (+4)	14件 (+2)	3件 (+2)	0件	0件	25件 (+8)

※修繕等には道路等の復旧により自宅へ戻った者を含む。



(1) 河川防災ステーションとは（国土交通省資料より）

「河川防災ステーション」は、水防活動を行う上で必要な土砂等の緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸に必要な作業面積を確保するものです。洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々のレクリエーションの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として大いに活用される施設です。

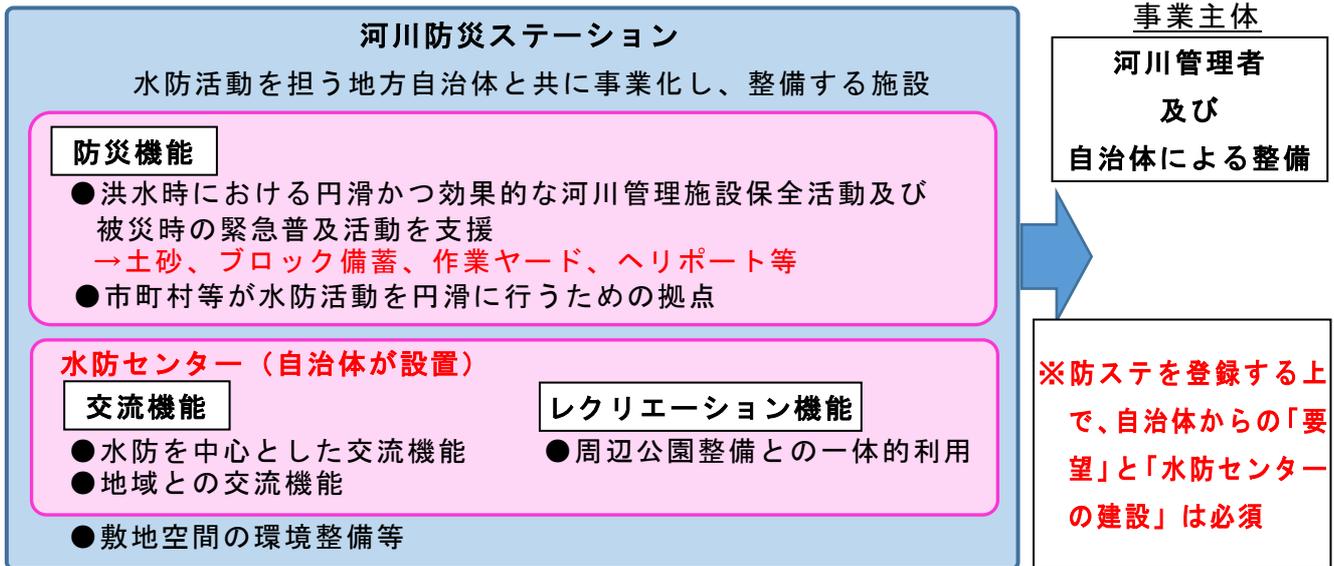
《 「河川防災ステーション」の設置位置 》

- ① 水防倉庫などの関連施設と河川防災ステーションとの役割分担
- ② 重要水防箇所 の状況
- ③ 過去に大きな被害を受け、水防活動や緊急復旧の実績のある区間及びその状況
- ④ 想定される水防活動及び緊急復旧活動に関わる輸送路の状況
- ⑤ 集落や市街地に近く、通常時にも一般の利用が活発に行われ、河川を軸とした文化活動の拠点として活用され、河川事業の展示活動、研修などが展開できる地域

《 新規に整備を要望する市町村は 》

「河川防災ステーション」を整備する際は、洪水時の水防活動及び緊急復旧活動の拠点として整備されるものであり、河川局長の承認を受ける必要があります。

整備計画の申請は河川管理者が行いますが、水防管理者と一体として整備する施設ですので、市町村と調整が図られた計画が設置要望の必須条件となります。



【災害時の活用】	【平常時の活用】
<ul style="list-style-type: none"> ① 緊急復旧用資材備蓄基地 ② 災害対策車両基地 ③ ヘリポート ④ 洪水時の現地対策本部 ⑤ 水防団の待機場所 ⑥ 水防倉庫 ⑦ 一般住民の避難場所 	<ul style="list-style-type: none"> ① コミュニティスペースとして地域に提供 ② 水防活動の訓練等に利用 ③ 防災学習施設や川の情報発信拠点として水防センターを活用

(2) 丸森町水防センター整備の基本方針について

丸森町水防拠点整備の基本方針は、以下のとおりとする。

- ① 令和元年東日本台風の対応を踏まえ、水害対策の拠点として活用できる機能を有した水防拠点（以下「丸森町水防センター」という。）として整備する。
- ② 災害発生時には、町の災害対策本部の指示のもと、防災関係機関と連携して迅速かつ的確に災害応急活動を実施し、町民を災害から守るための水防活動拠点として活用する。
- ③ 大規模災害により、災害対策本部となっている役場庁舎が水害等により孤立した場合、災害対策本部の機能を代替できる拠点として整備する。
- ④ 平常時には、町民の防災知識等の普及啓発や防災関係機関も含めた防災訓練の場として利用する。

※ 町の計画上の位置づけ

丸森町地域防災計画（風水害対策編）第2章第7節 防災拠点等の整備、充実
丸森町復旧・復興計画第6章2.安全・安心の拠点形成プロジェクト

(3) 水防センターとしての必要な具体的な機能

① 水防拠点

水害対策を行うための水防団及び水防関係機関が一時集結し、活動場所に出場する拠点としての機能を基本とし、水防活動に必要な排水ポンプ車等の水防資器材等を保管する格納庫や活動スペース。

② 受援拠点

緊急消防援助隊（消防）や広域緊急援助隊（警察）、自衛隊等の広域支援部隊が一時集結し、被災地へ効率的な派遣を行う活動スペース。

③ 災害対策本部の代替拠点

災害対策本部となっている役場庁舎が水害等により孤立した場合の代替拠点として、災害対策本部を代替できる機能。

4 河川防災ステーション規模の検討

(1) 水防センター

水防センターは、丸森町の計画より $A = 600\text{m}^2$ (建築面積) とする。

○延床面積

[1階]

・水防団待機室	16 m^2
・排水ポンプ車等格納庫・資器材倉庫	146 m^2
・備蓄倉庫	35 m^2
・展示ホール(水防団待機室)	43 m^2
・給湯室、シャワー室、トイレ(多目的、男・女)	19 m^2
・通路、物置、風除室	27 m^2
合 計	286 m^2 (1 F 延床面積)

[2階]

・防災学習室(小)	43 m^2
・防災学習室(大)	105 m^2
・給湯室、トイレ(男・女)	14 m^2
・通路、廊下、物置	30 m^2
合 計	192 m^2 (2 F 延床面積)

○建築面積

$26.8\text{m} \times 11.0\text{m} + 3.15\text{m} \times 2.0\text{m}$ (風除室) $+ 2.75\text{m} \times 2.5$ (庇左側) $+ 20.9\text{m} \times 2.5\text{m}$ (庇右側)
 $+ 3.15 \times 0.5$ (風除室下側)

建築面積計 361.8m^2
 $\doteq 400\text{m}^2$

防災ステーションを整備する地域は丸森町都市計画区域の用途地域ではないため、建ぺい率は70%である。このため、水防センターの建ぺい率70%として敷地面積の目安を算出する。敷地面積は、 600m^2 となる。

$$A = 400 / 0.7 = 571.4\text{m}^2 \doteq 600\text{m}^2$$

図 丸森町水防センター平面図（案）

